

【調査票】

(0) 都道府県市名を選択してください。

都道府県市名	36徳島県
--------	-------

(1) 令和5年度始業日時点の教師不足の状況について、以下の各学校種において令和4年度当初と比べようになっているか、当てはまるものをご回答ください。

学校種	悪化	同程度	改善
総計	○		
小学校	○		
中学校	○		
高等学校	○		
特別支援学校	○		

(1-1) (「改善」と回答した欄があった場合) 改善した理由について具体的に回答ください。

--

(1-2) 教師不足に対応するためのななり手確保としてどのような取組を行っていますか。具体的に回答ください。

○教員採用審査における選考内容の変更 (現職教員対象特別選考要件の拡充、大学・大学院推薦特別選考の新設、加算申請要件の追加、一般教養審査の廃止) ○県外審査会場の新設 (東京会場) ○大学生、バーチャルチャーター対象の教員採用審査説明会・相談会の実施 (県内・東京) ○ケーブルテレビなどメディアを活用したディナーチャーズの広報活動 ○SNSを活用した高校生等への情報発信
--

(2) 特にどの学校種・教科について随時的任用教員、非常勤講師等が集まりにくい回答ください。

○小学校の常勤講師
○中学校は技能教科 (音楽・美術・保健・技術・家庭)
○高等学校は専門教科 (農業、工業、商業、看護)、家庭
○特別支援学校の全領域

(3) 随時的任用教員、非常勤講師等が集まりにくい状況について、10年前 (2013年頃) と現在を比較してどのような変化があるか、ご回答ください。

採用審査受審者数の減少に伴い、不採用者数が減少している。また、不採用者のうち、ディナーチャーズバンクに新規登録する者が減少している。
--

(4) 特に、県内どのような地域で随時的任用教員、非常勤講師等が集まりにくい状況にあるか、地域及びその理由をご回答ください。

県西部と県南部 (人口が少なく、地元の教員免許保持者が少ない、自宅から遠隔地での勤務を敬遠する者が多い)
--

(5) 大学や民間企業等の経済団体と、随時的任用教員、非常勤講師等の派遣や人材発掘について連携する取組を行っていますか。行っている場合、具体的な内容についてご回答ください。

	取組の実施無
○	取組の実施有 (以下にその内容について具体的に回答してください。)
	地元大学の大学院生を非常勤講師として任用している。

(5) 大学や民間企業等の経済団体と、臨時的任用教員、非常勤講師等の派遣や人材発掘について連携する取組を行っていますか。行っている場合、具体的な内容についてご回答ください。

	取組の実施無
○	取組の実施有（以下にその内容について具体的に回答してください。）
地元大学の大学院生を非常勤講師として任用している。 養護助教諭の配置について、徳島県ナースセンターに協力を依頼している。臨時の栄養職員の配置について、徳島県栄養士会に協力を依頼している。	

(6) 教員免許を持ちながら教職に就いていない者（いわゆるペーパーチャーター）向けの研修会を実施していますか。実施している場合、実施した回数と、参加人数とそれにより臨時的任用教員、非常勤講師等としての任用に結びついた数について可能な限り具体的に回答ください。

	研修会の実施有	○	研修会の実施無
(有の場合)	研修会の実施回数		
	研修会の実施により、臨時的任用教員、非常勤講師等の任用に結びついた数		

(7) 令和3年度調査によれば、特別支援学級や特別支援学校の臨時任用職員の割合は小中等学校の学級担任全体における臨時任用職員の割合に比べて全国的に高い実態があります。貴県において、同様の実態がある場合、その理由をご回答ください。また、特別支援教育に関わる教師を長期的な視野に立つて計画的に育成・配置するための取組を行っている場合、具体的な内容についてご回答ください。

理由	○特別支援学校児童・生徒数がほぼ概ねいの中、定年・早期退職者数にみあう新規採用数が確保できない現状がある。 ○特別支援学級に入級する児童・生徒数の確定それに伴う学級数の算定が遅く、新規採用数に反映しにくい。
取組	○小・中・高の教諭の特別支援学校への人事交流及び認定講習による免許取得推進。 ○小・中・高の特別支援学級の担任の経験を重ねている。○小中の特別支援学級担任者への認定講習による免許取得推進。

(8) 教師の採用計画を立てる際、正規教員の割合など正規教員の採用に関する何らかの目標を設定している、あるいは設定する予定がありますか。設定している、あるいは設定する予定がある場合は、具体的な目標の内容を、設定しておらず設定する予定もない場合は、その理由をご回答ください。

○	設定有（予定を含む。以下に目標の具体的な内容を回答してください。） 小中学校では、正規比率95%という目標値を設定して採用計画を立てている。
	設定無（以下にその理由について具体的に回答してください。）

(9) 定年引上げに伴い、新規採用者数を平準化する等の取組により、教師不足の状況が改善する見込みかどうか。改善しない場合、具体的な理由をご回答ください。

○	改善する見込み
	改善しない見込み（以下にその理由について具体的に回答してください。）

(10) 令和5年度末より地方公務員についても段階的な定年引上げが行われる中で、定年退職者が出ない年度の翌年の新規採用者の枠を確保するため、現在の臨時的任用教員、非常勤講師等の非正規教員の枠を活用し、正規教員の枠に振り替える予定があるか。予定がない場合、どのような方法で新規採用者の枠を確保する予定か。

	非正規枠から正規枠への振り替えも含め新規採用数の平準化を図る予定である。
--	--------------------------------------